

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和6年9月2日

施設名	高知青少年の家	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	---------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)高知県青年会館	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町天王北1-14		
業務内容	・施設の利用の許可に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること ・主催事業を計画し、実施すること <令和5年度主催事業> ・ハーブ寄せ植え教室 ・親子陶芸教室 ・メモリアルアート教室 ・わくわく楽しい絵本de読書感想文 ・夏休み学習支援教室 ・高校連携事業 夏休みプログラミング教室 ・流しそうめん教室 ・折り紙飛行機教室 ・ドローン体験教室 ・親子キャンドル教室 ・天王deあそぼうさい ・放課後児童クラブin青少年の家		
施設内容	研修及び会議を計画する各種機関・団体・学校・グループ・サークル・企業等に施設を提供している。 利用開始日:昭和63年6月1日 延床面積:1,230.39㎡ 建築物:鉄筋コンクリート2階建 施設概要: 大集会室200名×1 研修室45名×3 会議室20名×1 和室20名×1 和室15名×1 視聴覚室50名×1 談話室(ホール)		
職員体制	職員:所長1名 事務長1名 指導員3名 合計:5名 ※所長・事務長は青少年体育館と兼務		

2 収支の状況

(単位:円)

		R04年度(決算)	R05年度(決算)	R06年度(予算)
収入	県支出金	21,135,000	21,985,000	22,226,000
	事業費収入	95,000	130,700	108,000
	収入計	21,230,000	22,115,700	22,334,000
支出	事業費	609,591	672,686	600,000
	管理運営費	7,727,164	7,472,070	8,524,000
	人件費	10,702,069	11,262,326	11,180,000
	消費税	2,125,563	2,174,834	2,030,000
	支出計	21,164,387	21,581,916	22,334,000
使用料収入		798,820	908,490	828,000

3 利用実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
利用者数	20,604	10,800	14,391	17,493	20,367	16,731
利用団体数	1,020	834	1,046	1,132	1,174	1,041

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	【評価】 ・申込みの方法にメールを導入したり、工夫と改善がみられた。 ・新規事業を2つ始めているが特色ある事業内容に特化する方向も検討の必要がある。 ・伊野南小学校との連携は継続できている。 ・近隣の小学校への訪問やチラシの配布など積極的な取組を行っている。 ・恵まれた立地条件を活用し、青少年から地域住民に至るまでの幅広い利用者層を取り込み、着実に利用拡大を図っている。 【意見】 ・青少年施設の本来目的に鑑み、利用のメインターゲットとなる層に直接働きかける企画を実施して欲しい。例えばスマホ教室であれば、子どもや若者を対象としてそのニーズに応える内容で実践して欲しい。地域に親しまれる施設として、また生涯学習の場として高齢者を対象とする企画も否定はしないが、まずは青少年を中心とした企画の充実を求める。 ・隣に体育館があって運営者が共通していることの特徴を活かして、運動や健康とひもづく栄養や食事の摂り方に関する企画やアドバイスができるようにすると利用者の満足度が高まる可能性がある。また、近隣の医療施設の管理栄養士や栄養指導の医師とも連携する方法もある。 ・昨年度からの課題であるwebでの申請体制の整備を進めて欲しい。 ・実に多くの多種多様な事業を企画・実施し、利用者確保に努めていることは大いに評価されるが、一方で総花的な取組となっている一面が見られる。
②利用者へのサービス向上のための改善策	【評価】 ・アンケートの分析や振り返りシートの分析を通じてニーズを把握している。 ・職員の資質向上のために、研修会等に職員を派遣している。 【意見】 ・空き状況の確認ができるような、予約と一元化したシステム構築が図られないか検討して欲しい。 ・HPの使い勝手について工夫が必要。 ・近隣校や自主防災組織との連携を進めて欲しい。 ・利用者数や施設規模等に比して職員数が十分とはいえないことにより、利用者サービス向上への工夫が必要である。 ・職員数の不足を補うために、今後ICTの活用、業務のDX化を視野に入れて検討する必要があると考える。

③施設の運営について	【評価】 ・地域環境を考慮した自主事業を積極的に実施している点は評価できる。 ・少人数の職員にも関わらず、家と体育館との相互協力により、業務運営の効率化が図られている。 ・利用者の安全・衛生確保に組織的に取り組んでいる。 【意見】 ・防災訓練にとどまらず、より実践的な避難訓練にまで発展するような、災害時を想定した取組がなされることを望む。 ・利用者にとって安全な施設として施設内の危険箇所の未然対策や設備の点検、職員の皆さんの訓練を通したスキルアップに努めて欲しい。 ・利用者確保のため事業数が増えていることより、事業の目的及び組織の役割が広がりを見せている。限られた職員数であることより、厳選することを検討してはどうか。 ・施設運営へのボランティアの参画は一層促進されるよう尽力願いたい。
④利用実績	【評価】 ・令和5年度の利用実績は、利用者数20,367人(1.16倍)、利用団体数1,174団体(1.04倍)と”コロナ禍”前の令和元年度に迫る実績を残しており、順調に回復している。※()内は令和4年度比 ・都市型青少年教育施設の立地条件を活かし、十分な利用実績を上げている。今後のさらなる利用者増が期待される。 【意見】 ・高知市中心部に近い立地を活かして、利用が増える企画や施設の充実を図って欲しい。
⑤収支の状況	【評価】 ・利用実績に比し予算内で抑えられている。 ・事業費の増加があったが、管理運営費は低く抑えられている。 【意見】 ・令和6年度予算は増額となっているが、引き続き管理運営費の削減に取り組んで欲しい。
総合評価	【評価】 ・概ね目標値は達している。 ・立地条件を活かし、十分に利用者確保を図るとともに、限られた人数で支障なく施設運営に取り組んでいる。 ・地道な努力により予算内の運営に努めている。 【意見】 ・高知市中心部に近い立地を活かすために、高知市内の企業やNPOなどの市民活動団体、学校に施設の存在と機能の周知を図るとともに、期待する企画や設備に関するアンケートを実施して、多くの市民に最も近くにある教育研修施設として活用してもらえるよう、PRと実践に努めて欲しい。 ・web活用の推進が必要。 ・ホームページ等の案内が十分でない点がある。 ・さらなる利用者サービスの向上や業務の効率化等に向けて、DX化の一層の進展が望まれる。 ・管理運営費は抑えられているが、事業費、人件費の増加をどのように抑制するかが課題である。

- 【評価の目安】
- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。